



平成 18 年 7 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 12 月 6 日

会社名 株式会社イチヤ

(JASDAQ・コード番号：9968)

(URL <http://www.ichiya.biz>)

代表者 役 職 代表取締役社長

氏 名 吉岡公和

問合せ先 責任者名 取締役財務部長

氏 名 曾我部達雄

TEL：(088) 823-2638

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
影響額が僅少なものについて一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
当連結会計年度から、株式会社VOUSが新しく連結子会社として増加しております。

2. 平成 18 年 7 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 8 月 1 日～平成 17 年 10 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨て表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期） 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年7月期第1四半期	737	(366.5)	329	(—)	327	(—)	327	(—)
17年7月期第1四半期	158	(△8.7)	—	(—)	—	(—)	—	(—)
(参考)17年7月期	694		△479		△497		△925	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年7月期第1四半期	0 82	— —
17年7月期第1四半期	— —	— —
(参考)17年7月期	△5 45	— —

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国の経済環境は、企業収益の改善や設備投資の増加を背景に雇用環境に改善の兆しがみられ、個人消費についても緩やかながら回復基調で推移しました。当社グループにつきましては、当連結会計年度より新しく株式会社VOUSが連結対象となり、当社の業績拡大に寄与しております。また、第1四半期の業績におきましては各事業部とも概ね順調であり、特に投資事業の売上高が480百万円と順調であったことから業績を大きく伸ばしております。

これらの結果、当第1四半期までの売上高は737百万円（前年同期比366.5%増）、営業利益は329百万円、経常利益は327百万円となりました。

なお、当連結会計年度より適用となる減損会計につきましては、監査法人の監査を受けていないため概算であります。中間期末に減損損失（見込約7億円）を計上する予定をしております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨て表示)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年7月期第1四半期	5,658	4,468	79.0	10 12
17年7月期第1四半期	—	—	—	— —
(参考)17年7月期	4,286	3,041	71.0	9 17

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の財政状態は、総資産5,658百万円と前連結会計年度に比べて1,372百万円増加いたしました。資産増加の主な要因は、現金及び預金の増加459百万円、不動産事業部の販売用土地の仕入に係る棚卸資産の増加801百万円等によるものであります。

株主資本につきましては、4,468百万円と前連結会計年度に比べ1,427百万円増加いたしました。株主資本の増加の要因は、当第1四半期末までの第3回新株予約権110,000個の権利行使により、資本金が550百万円、資本剰余金が550百万円増加したことによるものであります。

○ 添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書

以上

[参 考]

平成18年7月期の連結業績予想（平成17年8月1日～平成18年7月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	1,020	200	△540
通 期	1,840	△10	△800

(参考) 1株当たり予想当期純損失（通期） 1円81銭

[業績予想に関する定性的情報等]

本日開示の業績予想の修正に記載のとおり、当社の第1四半期の業績が概ね順調に推移していることに加え、下期には不動産事業部の販売用物件の販売の目処がたってきたことから、予想数値を上方修正いたします。

当連結会計年度より適用となる減損会計につきましては、監査法人の監査を受けていないため概算であります。中間連結会計期間末に減損損失（見込約7億円）を計上する予定をしております。また、特別損失として新株発行費が、新株予約権の権利行使の都度発生するため、年間約80百万円を見込でおります。

平成17年11月25日付締結した、株式会社サハジロトとの出資に向けた覚書に関する業績への影響につきましては、まだ、正式な申込をしていないことに加え、株式会社サハジロトの来期の計画が作成中であることから、今回の業績予想には反映しておりません。

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

科 目	当四半期 (平成 18 年 7 月 期 第 1 四 半 期 末)	(参考) 平成 17 年 7 月 期
	金額 (千円)	金額 (千円)
(資産の部)		
I 流動資産		
1. 現金及び預金	1,713,376	1,253,601
2. 受取手形及び売掛金	28,763	22,608
3. たな卸資産	927,993	126,499
4. 短期貸付金	300,000	370,000
5. その他	85,683	60,158
6. 貸倒引当金	△7,410	△27,410
流動資産合計	3,048,406	1,805,458
II 固定資産		
1. 有形固定資産		
(1) 建物及び構築物	376,191	383,519
(2) 土地	1,472,724	1,472,724
(3) その他	25,612	18,442
有形固定資産合計	1,874,528	1,874,685
2. 無形固定資産	218,049	92,644
3. 投資その他の資産		
(1) 投資有価証券	188,634	186,580
(2) 敷金	236,250	231,955
(3) その他	114,009	119,096
(4) 貸倒引当金	△21,700	△24,700
投資その他の資産合計	517,193	512,932
固定資産合計	2,609,771	2,480,263
III 繰延資産	386	416
資産合計	5,658,564	4,286,137

科 目	当四半期	(参考)
	(平成 18 年 7 月期 第 1 四半期末)	平成 17 年 7 月期
	金額 (千円)	金額 (千円)
(負債の部)		
I 流動負債		
1. 支払手形及び買掛金	67,238	28,497
2. 短期借入金	671,071	739,000
3. 1年以内返済予定長期 借入金	202,008	212,342
4. 賞与引当金	5,400	3,900
5. その他	67,544	68,801
流動負債合計	1,013,261	1,052,540
II 固定負債		
1. 長期借入金	117,328	151,240
2. その他	41,020	41,020
固定負債合計	158,348	192,260
負債合計	1,171,609	1,244,800
(少数株主持分)		
少数株主持分	18,167	—
(資本の部)		
I 資本金	5,683,047	5,133,047
II 資本剰余金	550,000	1,276,620
III 利益剰余金	△1,763,736	△3,367,831
IV 自己株式	△522	△499
資本合計	4,468,787	3,041,336
負債、資本合計	5,658,564	4,286,137

2. (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	当四半期 (平成 18 年 7 月期 第 1 四半期)	(参考) 平成 17 年 7 月期
	金 額 (千円)	金 額 (千円)
I 売上高	737,274	694,356
II 売上原価	153,764	376,243
売上総利益	583,510	318,112
III 販売費及び一般管理費	254,397	797,705
営業利益 (△損失)	329,112	△479,592
IV 営業外収益	4,146	11,253
V 営業外費用	5,868	29,600
経常利益 (△損失)	327,390	△497,939
VI 特別利益	23,000	9,829
VII 特別損失	23,965	431,104
税金等調整前四半期 (当期)純利益 (△損失)	326,424	△919,214
法人税、住民税及び事業税	1,650	5,887
少数株主持分損益	△2,700	—
四半期 (当期) 純利益 (△ 損失)	327,474	△925,101